

学びを深め、未来を拓く - 富水小学校の 40 分授業と ICT 活用

■■■ 学校情報セキュリティお役立ち Web「今日もワンステップ！」

発行元：ISEN メルマガ編集局 <https://school-security.jp/>

[illegible]

## 【1】 関連省庁・団体ニュース ～どうなる？ 今後の学校ICT～

【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

### 【3】 学校 ICT・セキュリティコラム

▽メルマガ印刷はこちら。朝礼での配布などセキュリティ啓発にご活用ください。

>> <https://school-security.jp/contents/mailmagazine> backnumber/

□ 【1】 関連省庁・団体ニュース ～どうなる？ 今後の学校ICT～

◇◆ トピックス (1) .....

文部科学省「令和7年度高等学校DX加速化推進事業」

(DX ハイスクール) | の採択校を公表

文部科学省は4月15日、「令和7年度高等学校DX加速化推進事業

(DX ハイスクール) | の採択校を公表しました。

今年度は、全国の公私的高等学校合わせて1,191校が採択されました。

本事業は、令和6年度に開始され、

情報や数学などの教科を基盤に、ICT を活用した探究的な学びを通じて、デジタル分野を担う次世代の人材の抜本的強化を目的にしています。

今年度は全国約 1,200 校が対象となっております。

先進的なカリキュラムに取り組む学校には、必要な ICT 環境整備費として、最大 1,200 万円が支援されます。

採択校に求める活動事例では、

- ・デジタルを活用した文理横断的・探究的な学びの実施
- ・デジタルものづくりなど、生徒の興味関心を

高めるデジタル課外活動の促進  
などが挙げられます。

デジタル技術を駆使しながら生徒一人一人の個別的な学びを支えるだけでなく、  
グローバルな視点を育むためにも重要な要素となります。

次世代に向けて必要とされるスキルを身につけ、  
デジタル社会での活躍に繋がる人材として成長していくことが期待されます。

▼「令和7年度高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」

[https://www.mext.go.jp/content/20250415\\_mxt\\_koukou01\\_000039718\\_0008.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20250415_mxt_koukou01_000039718_0008.pdf)

◇◆ トピックス（2） .....

文部科学省「次世代校務DXガイドブック

-都道府県域内全体で取組を進めるために-」を公表

.....◆◇

文部科学省は3月、「次世代校務DXガイドブック

-都道府県域内全体で取組を進めるために-」を公表しました。

本ガイドブックでは、校務DXの意義や導入のステップ、  
体制整備のポイントなどが具体的に整理されており、  
各自治体が円滑に取り組みを進めるための内容がまとめられています。

令和11年度までに、すべての自治体で「次世代校務システム」の  
導入を完了することが目標として掲げられており、  
その実現に向けては、すぐに取りかけられる「今の環境でできる校務DX」と、  
「環境整備を伴う校務DX」の両面から取り組むことが重要とされています。

次世代校務DXの取り組みを進める上で、  
まずは目的に合わせ、不必要な業務の見直しや、業務フローの見直しを行い、  
より最適な業務の在り方を見据えることが必要です。

必要性があると判断した業務では、

「学校以外が担うべき業務」「教員でなくても担える業務」

「教員の業務ではあるが、負担軽減が可能な業務」に分類し、

教員が本来注力すべき教育活動について改めて見直すことが求められます。

また、汎用クラウドツールや生成AIの活用も有効とされています。

すでに学校現場では、ワークシートの作成や学校ホームページの

記事作成支援などに生成 AI が活用され始めています。

今後は、こうしたデジタル技術の活用を通じて、  
教員がより本質的な教育活動に専念できる環境づくりが一層求められます。

▼次世代校務 DX ガイドブック -都道府県域内全体で取組を進めるために-  
[https://www.mext.go.jp/content/20250401-mxt\\_jogai01-000041267\\_01.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20250401-mxt_jogai01-000041267_01.pdf)

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2025 年 5 月 2 日調査）

☆★ （1）紛失・置き忘れ：10 件 （2）誤公開：7 件 （3）誤送信：6 件  
（4）誤配布：4 件 （5）不正アクセス：3 件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2025 年 4 月は、合計 30 件の事故が発生しました。

情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、  
漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

#### （1） 紛失・置き忘れ

京都府 2025 年 4 月 7 日 市立中学校 デジタルカメラ 不明

宮城県 2025 年 4 月 10 日 県立高等学校 書類 39 件

滋賀県 2025 年 4 月 8 日 市立幼稚園 書類 1 件

埼玉県 2025 年 4 月 16 日 県立高等学校 書類 1 件

埼玉県 2025 年 4 月 16 日 県立高等学校 書類 不明

新潟県 2025 年 4 月 17 日 小学校 書類 32 件

埼玉県 2025 年 4 月 23 日 県立特別支援学校 書類 不明

新潟県 2025 年 4 月 24 日 市その他 書類 1 件

兵庫県 2025 年 4 月 29 日 市立小学校 書類 6,568 件

兵庫県 2025 年 4 月 29 日 市立幼稚園 書類 31 件

#### （2） 誤公開

熊本県 2025 年 4 月 3 日 高等学校 インターネットサービス・アプリ 562 件

佐賀県 2025 年 4 月 4 日 中学校 インターネットサービス・アプリ 161 件

埼玉県 2025 年 4 月 11 日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 1 件

埼玉県 2025 年 4 月 21 日 小学校 インターネットサービス・アプリ 34 件

茨城県 2025 年 4 月 22 日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 117 件

新潟県 2025 年 4 月 24 日 市その他 インターネットサービス・アプリ 185 件

北海道 2025 年 4 月 25 日 道立高等学校 インターネットサービス・アプリ 80 件

(3) 誤送信

北海道 2025 年 4 月 4 日 国立大学 電子メール 227 件

山形県 2025 年 4 月 9 日 市立小学校 電子メール 不明

愛媛県 2025 年 4 月 15 日 市立小学校 電子メール 不明

鹿児島県 2025 年 4 月 15 日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 7 件

新潟県 2025 年 4 月 23 日 県立特別支援学校 電子メール 約 98 件

鹿児島県 2025 年 4 月 28 日 高等学校 電子メール 289 件

(4) 誤配布

愛知県 2025 年 4 月 10 日 市立小学校 書類 1 件

愛知県 2025 年 4 月 10 日 市立中学校 書類 2 件

栃木県 2025 年 4 月 24 日 市その他 書類 約 200 件

兵庫県 2025 年 4 月 29 日 市立小学校 書類 4 件

(5) 不正アクセス

神奈川県 2025 年 4 月 4 日 その他 パソコン、システム・サーバー 約 6,000 件

香川県 2025 年 4 月 5 日 県立高等学校 パソコン、システム・サーバー 17,226 件

宮城県 2025 年 4 月 11 日 その他 パソコン、システム・サーバー 約 173,000 件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しています。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

Security NEXT／産経ニュース／中日新聞／朝日新聞デジタル／埼玉県ホームページ

Web 東奥／Yahoo!ニュース／NHK NEWS WEB／47NEWS／新潟県ホームページ

goo ニュース／神戸新聞 NEXT など

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【3】 学校 ICT・セキュリティコラム

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

---

◆ 学びを深め、未来を拓く - 富水小学校の 40 分授業と ICT 活用 ◆

小田原市立富水小学校 総括教諭 教務主任 時村 健太

---

小田原市立富水小学校では、

令和 6 年度から「40 分授業午前 5 時間制」を導入しました。

授業時間を短縮することで、学習の焦点を明確にし、  
児童の集中力を高めながら、効率的で充実した学びを  
実現することを目指しています。

また、本年度は「授業支援に特化した ICT 支援員の派遣」が予定されており、  
ICT 活用のさらなる促進が期待されています。

本稿では、この新たな学びの形における ICT の活用が、  
教育現場にどのような変化をもたらすのか、その具体的な実践例を紹介します。

40 分という短い授業時間だからこそ、学習の密度を高め、  
限られた時間を最大限活用する工夫が求められます。

本校では、ICT を積極的に活用し、児童が効率的に知識を習得し、  
理解を深める学習環境を整えています。

例えば、デジタル教材を活用することで、  
児童は短時間で必要な知識を効果的に身につけることができます。

さらに、動画や音声に加え、児童が実際に操作できる  
インタラクティブな教材を導入し、視覚や聴覚を通じて概念を  
より深く理解することが可能になっています。

また、一人一人の進捗や理解度に応じた学習コンテンツの調整を行い、  
「分からない」を「分かった！」へと変える喜びを育み、  
学びへの意欲を高めています。

学校運営においても ICT の活用は大きなメリットをもたらします。

オンラインの連絡システムを導入することで、  
保護者との情報共有が円滑になり、印刷物の準備や電話連絡といった業務の  
負担を軽減することができました。

また、デジタル掲示板を活用し、  
児童の学習成果を写真や動画で共有することで、  
家庭と学校の連携を強化する試みも進められています。

学級通信のオンライン配信を導入したことで、  
タイムリーな情報提供が可能になり、  
アンケート機能を活用した双方向のコミュニケーションも促進されています。

教材研究の面においても、ICT の活用によって教員同士の連携が強化されています。

クラウド上で資料を共有し、意見交換を行うことで、  
より質の高い教材開発が可能になり、  
授業の内容を充実させることができるようになりました。  
こうした取り組みは、児童の学びの質を高めるとともに、  
教員の負担を軽減し、より良い授業環境の構築につながっています。

さらに、本年度から予定されている

「授業支援に特化した ICT 支援員の派遣」により、  
教員の ICT 活用がさらに強化されることが期待されています。  
ICT 支援員は、教員が ICT ツールを効果的に活用できるようサポートし、  
授業での活用方法についての研修や助言を行う役割を担います。  
これにより、ICT を活用した授業の質向上が促進され、  
より柔軟な学習環境の構築が可能になると考えられます。

富水小学校では、「40 分授業午前 5 時間制」の導入とともに、  
ICT を活用した教育環境の充実を進めています。  
本年度より開始予定の「授業支援に特化した ICT 支援員の派遣」により、  
さらなる教育の充実が期待されています。  
この取り組みが、今後の教育の発展に向けて、一つの参考となれば幸いです。

◆ 執筆者プロフィール ◆

時村 健太  
小田原市立富水小学校 総括教諭 教務主任  
小田原・足柄下地区小学校教育研究会役員

……◇◆ 【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」を公開 ◆◇……

ISEN では、昨年 11 月に「令和 5 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい  
事故の発生状況」調査報告書（第 2 版）を Web 公開しました。

>> [https://school-security.jp/leak\\_all/](https://school-security.jp/leak_all/)

---

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）  
〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）  
<https://school-security.jp/>

---

▽「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が  
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。  
メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2/>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。  
<https://school-security.jp/privacy/>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、  
下記フォームよりご連絡ください。  
<https://fs220.xbit.jp/y592/form3/>